

2005年2月期第1四半期(3-5月)業績のご報告(その1)

期初予算通りの高成長を達成

連結業績ハイライト

- 売上高および営業利益は四半期ベースで過去最高となりました。
- 売上高は前年同期比25%増、営業利益および経常利益は71%増、四半期純利益は81%増となりました。
- 1株当たり四半期純利益は28.03円となりました。
- 無料求人情報誌『DOMO』の売上高は47%増となりました。
- 人材派遣事業の売上高は10%増となりました。
- 今後の求人広告市場の動向を慎重に見ているため、期初の業績見通しに変更はありません。

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。2005年2月期第1四半期(2004年3月1日から2004年5月31日まで)の業績をご報告するにあたり、ごあいさつ申し上げます。

5月末にお届けいたしました事業報告書の中で取り上げた「雇用の流動化」は、足元の景況感が改善する中でもますます進んでいくものと確信しております。(社)全国求人情報協会の発表資料によれば、当四半期におけるアルバイト、パートタイマー、派遣社員、契約社員といった非正社員系の求人広告件数は、前年同期比17.1%増と3四半期連続で二桁の増加となっており、おおむね良好な事業環境にあると言えます。

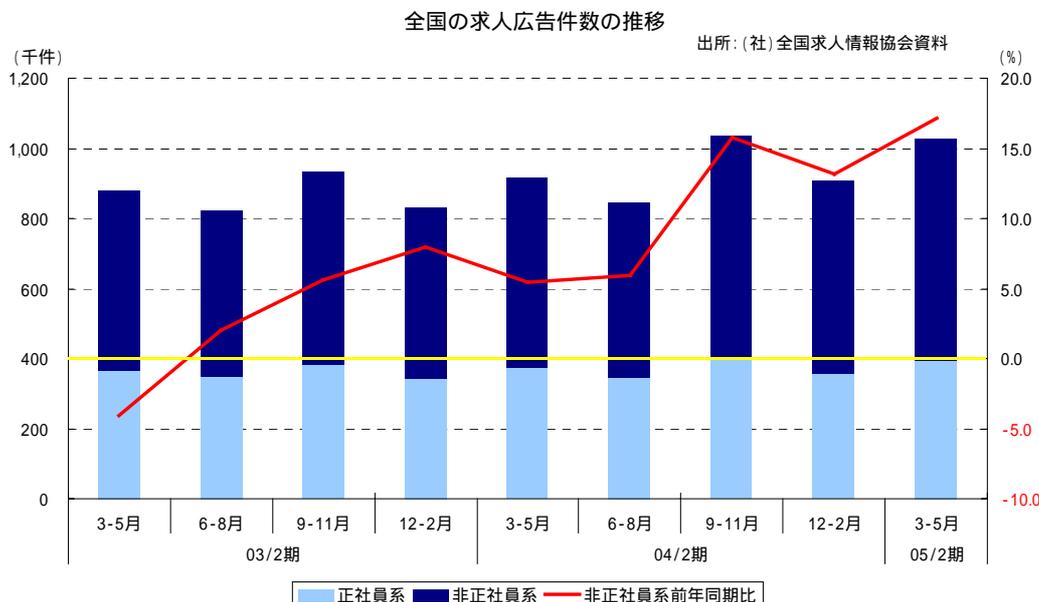
こうした環境の中、当四半期の連結業績は、売上高が前年同期比25.1%増の41億7千4百万円、営業利益が70.9%増の5億9千1百万円、経常利益が71.1%増の5億9千4百万円、四半期純利益が80.8%増の3億1千5百万円と、期初予算通りの高成長を達成できました。

成長を支える無料求人情報誌『DOMO』の売上高は、前年同期比46.6%増の22億2千8百万円となりました。競合誌より高い応募効果および営業力の強化により、高頻度で求人広告を出稿する人材派遣、業務請負、テレマーケティング、大手フードチェーンを中心とした大口顧客の獲得が進んでいます。こうした顧客は大きなスペースで広告を出稿していただけるため、1広告あたりの平均単価が上昇しており、収益力の向上につながっています。また、人材派遣事業の売上高は、前年同期比9.7%増の14億7千5百万円となり、収益が安定してきています。

6月に『DOMO』大阪版を創刊しました。『DOMO』の大口顧客の大半は、大阪でも事業を展開しているため、創刊時からご利用いただいています。首都圏での成功という後方支援の大きさを実感しています。名古屋版のように早期に黒字化を実現すべく必要な投資を積み増しつつ、期初予算の着実な達成により株主のみなさまからの信頼を得たいと考えています。今後ともアルバイトタイムスにご期待ください。

2004年6月
代表取締役社長
鈴木 秀和

事業環境



当四半期の求人広告市場および人材派遣市場は良好な状況で推移しました。企業収益および景況感の改善とともに人材需要が高まっておりますが、従来とは異なり、アルバイト、パートタイマー、派遣社員、契約社員といった非正社員の積極的な活用で対応する動きが浸透しつつあります。その結果、非正社員系の求人広告や人材派遣への需要が高まっています。

連結業績

(単位:百万円)

	05/2 期 Q1		04/2 期 Q1		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
売上高	4,174	100.0%	3,335	100.0%	838	25.1%
営業利益	591	14.2%	346	10.3%	245	70.9%
経常利益	594	14.2%	347	10.4%	246	71.1%
四半期純利益	315	7.6%	174	5.2%	140	80.8%
1株当たり四半期純利益	¥28.03		¥31.13			

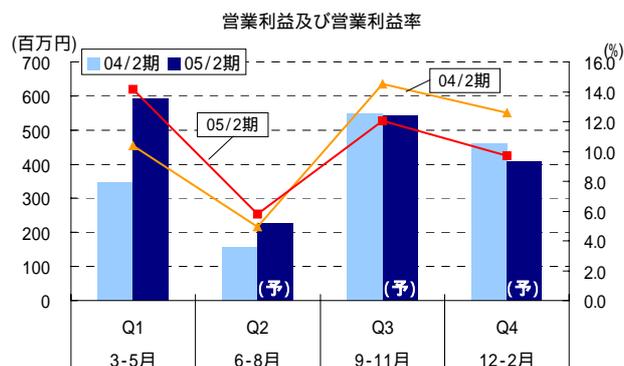
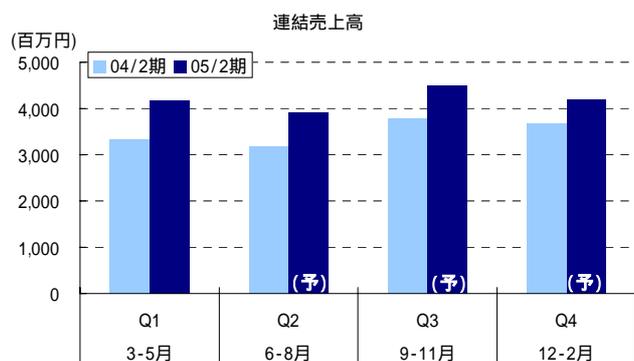
(注) 2004年2月29日現在の株主に対して1:2の株式分割を行っています。

当四半期の連結業績は概ね好調に推移いたしました。売上高はほぼ予算通りに推移し、前年同期比 25.1%増の41億7千4百万円となりました。売上高の増加による利益の増加に加え、一部の費用の発生が第2四半期にずれの影響もあり、営業利益は70.9%増の5億9千1百万円、経常利益は71.1%増の5億9千4百万円、四

本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

半期純利益は80.8%増の3億1千5百万円と大幅な増加となりました。

下のグラフは四半期ごとの売上高および営業利益の推移を表したものです。第2四半期の営業利益の水準がその他の四半期に比べ低くなっていますが、この要因は、今期については『DOMO』大阪版の創刊、前期については『DOMO』名古屋版の創刊に伴う費用がまとまって発生しているためです。



今期の業績見通し

中間期の見通し

(単位:百万円)

	05/2 期中間(予)		04/2 期中間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
売上高	8,026	100.0%	6,507	100.0%	1,518	23.3%
営業利益	687	8.6%	504	7.8%	182	36.2%
経常利益	692	8.6%	502	7.7%	189	37.7%
中間純利益	352	4.4%	254	3.9%	97	38.2%
1株当たり中間純利益	¥31.34		¥45.52			

通期の見通し

(単位:百万円)

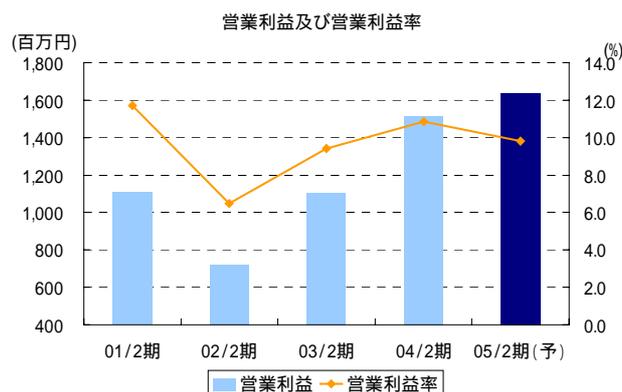
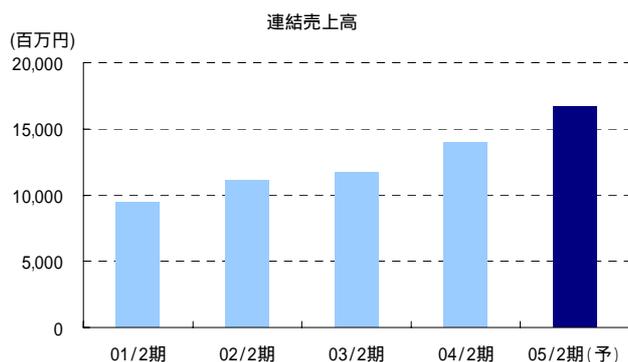
	05/2 期(予)		04/2 期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
売上高	16,726	100.0%	13,957	100.0%	2,769	19.8%
営業利益	1,638	8.6%	1,515	10.9%	122	8.1%
経常利益	1,647	8.6%	1,512	10.8%	134	8.9%
中間純利益	896	4.4%	881	6.3%	14	1.7%
1株当たり当期純利益	¥79.74		¥157.34			
1株当たり配当金	¥8.00		¥14.00			

(注) 2004年2月29日現在の株主に対して1:2の株式分割を行っています。

本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

現時点では期初の業績見通しに変更はありません。求人広告市場が好調であることは何よりですが、業種別に分析するとやや偏りが見られるため、今後の見通しには慎重にならざるを得ません。

また、期初の予算以上に利益の上積みが見込まれる場合は、『DOMO』大阪版の早期黒字化を実現するための投資に充当するなど、中長期の成長力をより高めていく方針です。引き続き期初に公表した業績見通しを確実に達成し、投資家のみなさまからの信頼を得たいと考えています。



中間決算発表予定日のお知らせ

2005年2月期中間決算(3-8月)の発表予定日は2004年10月を予定しています。詳細については現時点では未定です。当社ホームページでは決算発表予定日などIR関連のスケジュールを掲載していますので、ぜひ一度アクセスしてください。

URL: <http://www.atimes.co.jp/corporate/index.html>

また、Eメールアドレスのみで登録が可能な「メールマガジン」ではホームページの更新情報やニュースリリースを無料でお届けしています。こちらもおわせてご利用ください。

お問合せ先

株式会社アルバイトタイムス

総務部 広報・IR担当

E-mail: ir@atimes.co.jp

TEL: 03-5202-2255 FAX: 03-5202-2300

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-1-14

日本橋加藤ビルディング

本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。